

【資料6】

# 清須市地域公共交通会議

平成18年6月26日設置

フィーダー系統 平成26年6月24日NW計画策定

## ①協議会が目指す方向性(Plan)

### ■ 清須市の地域特性

本市は、面積約17km<sup>2</sup>のコンパクトシティであるが、市域内を流れる3河川、鉄道網、大型道路網などによって制約を受け、市域内の交通利便性が高くない。

また、市域内には、半径1km以内に鉄道駅、バス路線がない交通不便地域があり、自家用車に依存せざるを得ない状態である。

### 「清須市第1次総合計画」(平成19年3月策定、平成24年3月改訂)

#### 公共交通の充実

市民が自家用車に依存せず容易に移動ができるよう、鉄道以外にも市民が利用しやすい「足」の確保に努めます。

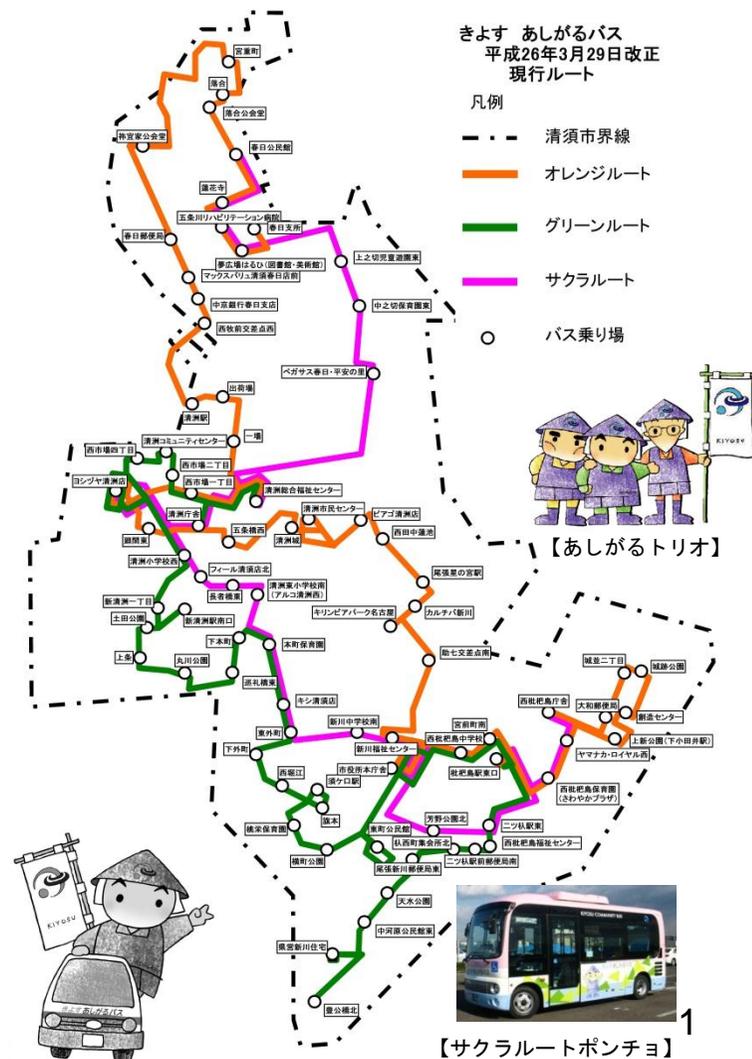
### 「清須市地域公共交通網形成計画」(平成27年度～31年度)

市域内における公共交通のあり方と、その中で「あしがるバス」が果たす役割、そして、その他公共交通との関係を明らかにし、公共交通利便性を高めることを通じて市民の「生活の質」の向上を目指します。

### 「清須市生活交通確保維持改善計画」

「あしがるバス」によって、市内の公共交通圏の人口カバー率を向上させ、今後進めていく公共施設の集約・再配置を支援し、市域内及び市域外との公共交通利便性を高めていきます。

# 誰もが移動しやすいまち「清須」



## ②地域公共交通に関する具体的取り組み及びそのプロセス(Do)

### ■ 平成26年度主な取組状況

時期	取組内容
平成25年12月	<b>■地域公共交通会議</b> ・新ルートダイヤ改正協議
平成26年 2月	<b>■地域公共交通会議</b> ・新ルートダイヤ改正協議 ・NW計画改正協議
平成26年 3月	<b>■利用者アンケート</b> <b>■ルート・ダイヤ改正※</b>
平成26年 6月	<b>■地域公共交通会議</b> ・利用促進策協議
平成26年 8月	<b>■プロポーザルによる運行主体候補者選定</b>
平成26年 9月	<b>■運行主体候補者特定</b> (平成29年9月末まで) <b>■利用者・非利用者アンケート</b>

### ※■ 平成26年3月ルート・ダイヤ改正の概要

利用者の更なる利便性向上のため実施

- (1) 新設要望が多かったグリーンルート「東町公民館」及びサクラルート「芳野公園北」バス停を新設
- (2) 都市計画道路枇杷島小田井線 J R アンダーパス開通に伴うルート改正
  - ① サクラルート「宮前公園」バス停を廃止
  - ② J R 枇杷島駅のバス停を全ルート「枇杷島駅東口」に統一
- (3) オレンジルート及びグリーンルートに新型車両を導入

### ■ 平成26年3月29日以降のコミュニティバスの概要

運行期間	平成26年10月1日～平成27年9月30日
運行区域	≪オレンジルート≫ 主に市北部と J R 枇杷島駅・清洲駅を接続 ≪グリーンルート≫ 主に市南部と J R 枇杷島駅、名鉄須ヶ口駅を接続 ≪サクラルート≫ 主に市中央部・図書館と J R 枇杷島駅を接続
運行便数	≪オレンジルート≫ 6便/日 ≪グリーンルート≫ 10便/日 ≪サクラルート≫ 10便/日
運行車両	ハイエース(8人乗り×2両) ポンチョ(28人乗り×1両)
備考	 <p>【オレンジルート及びグリーンルート導入車両】</p>

## ②地域公共交通に関する具体的取り組み及びそのプロセス(Do)

### ■ 平成27年度主な取組状況

事業	概要	検討プロセス等
<p>地域公共交通網形成計画の策定 (平成27年3月)</p>	<p>平成27年3月に、「だれもが移動しやすいまち清須」を目指し、市域全体を見渡した面的な公共交通ネットワークの再構築を推進するため、「清須市地域公共交通網形成計画」を策定した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成26年 6月24日 平成26年度第1回地域公共交通会議 清須市地域公共交通網形成計画策定の必要性について説明</li> <li>■平成26年10月 8日 平成26年度地域公共交通会議第1回専門部会 清須市地域公共交通網形成計画の骨子案について協議</li> <li>■平成26年11月26日 平成26年度地域公共交通会議第2回専門部会 清須市地域公共交通網形成計画案の内容について協議</li> <li>■平成26年12月16日 平成26年度地域公共交通会議第3回専門部会 清須市地域公共交通網形成計画案の内容について協議</li> <li>■平成26年12月16日 平成26年度第2回地域公共交通会議 清須市地域公共交通網形成計画案について協議</li> <li>■平成27年 3月20日 平成26年度第3回地域公共交通会議 清須市地域公共交通網形成計画案について協議・合意</li> </ul>
<p>利用促進イベントの実施</p> <p>①清洲城信長まつり (平成26年10月12日)</p> <p>②春日五条川さくらまつり (平成27年4月4日)</p>	<p>市内外から多くの来訪者がある、各地区にて開催されている祭りにおいて、バス車内見学、着ぐるみによるグリーティング、啓発品の配布などを実施し、あしがるバスのPR活動を実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成26年 6月24日 平成26年度第1回地域公共交通会議 利用促進イベントの実施について協議・承認</li> <li>■平成27年 3月20日 平成26年度第3回地域公共交通会議 利用促進イベントの実施について協議・承認</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>【①清洲城信長まつり】</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>【②春日五条川さくらまつり】</p>

## ②地域公共交通に関する具体的取り組み及びそのプロセス(Do)

### ■ 平成27年度主な取組状況

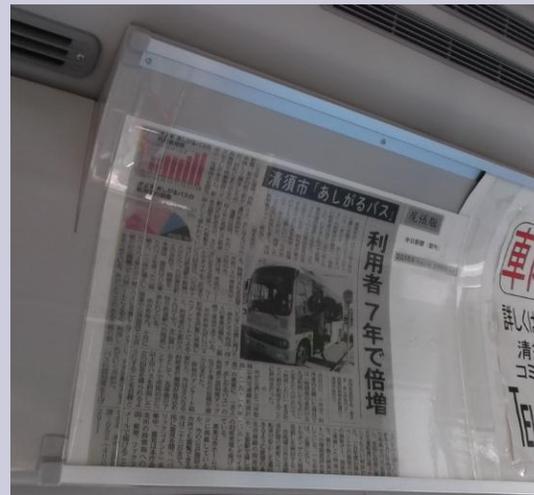
事業	概要	検討プロセス等
コミュニティバスアンケートの実施 (平成27年8月25日～31日)	あしがるバスを中心とする地域公共交通に対する住民の移動実態、ニーズ及び考え方を把握するため実施した。	■平成27年 6月26日 平成27年度第1回地域公共交通会議 コミュニティバスアンケートの実施について協議・承認
利用促進イベントの実施 (平成27年10月12日) ※事業実施は平成28年度	市制10周年記念式典開催日に合わせて「一日無料デー」を実施し、あしがるバスの認知度向上及び継続利用へのきっかけづくりを図った。	■平成27年 6月26日 平成27年度第1回地域公共交通会議 一日無料デーの実施について協議・承認

### ■ 平成27年度新聞掲載記事

中日新聞朝刊(尾張版)平成27年2月6日	備考
----------------------	----



### ■ バス車内、公共施設等に掲示し、広く周知を図った。



【あしがるバス車内窓枠上部】



【市役所本庁舎での掲示】

### ③地域公共交通に関する具体的取り組みに対する評価(Check)

#### ■ コミュニティバス利用状況

	年間利用者数		1便あたり利用者数	
	平成26年10月～平成27年9月		平成26年10月～平成27年9月	
	目標値	利用者数	目標値	利用者数
オレンジルート	9,908人	10,383人	4.6人	4.8人
グリーンルート	16,873人	16,532人	4.7人	4.6人
サクラルート	14,360人	18,758人	4.0人	5.2人
計	41,141人	45,673人	4.4人	4.9人

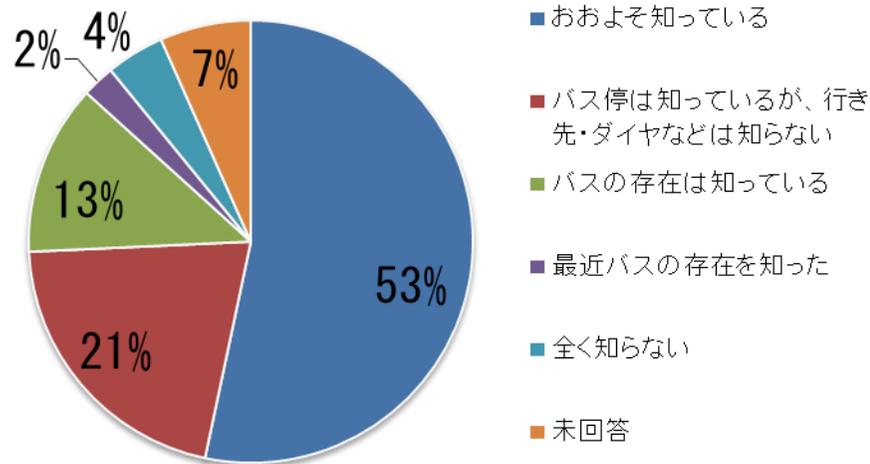
#### ● 利用状況

- ・年間利用者数は、目標値を約4,500人(11%)上回った。
- ・1便あたり利用者数は、目標値を0.5人上回った。

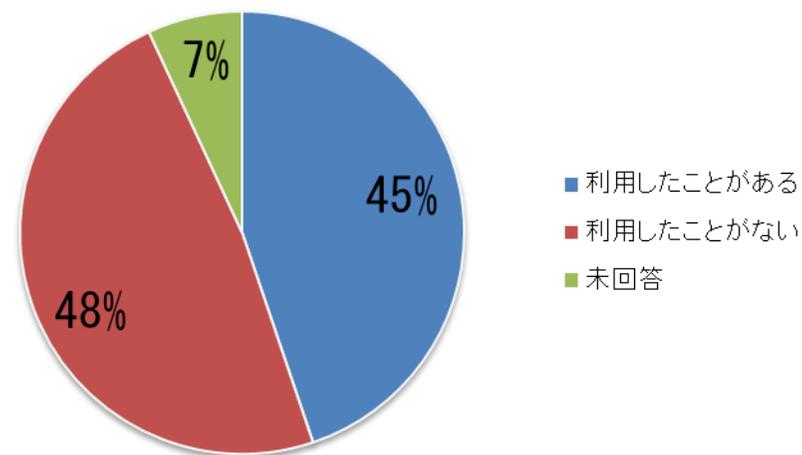
#### ● アンケート結果

- ・バスの存在自体を知っているという回答は87%であり、地域公共交通網形成計画の目標値82%を上回った。
- ・バスを「利用したことがある」という回答が45%であり、地域公共交通網形成計画の目標値33%を上回った。

#### ■ コミュニティバス利用者・非利用者アンケート調査結果【平成27年8月実施】



【非利用者のバスの認知度】



【非利用者のバスの利用度】

#### ④自己評価から得られた課題とその対応(Action)

##### ■ 課題とその課題への対応

課題等	課題への対応
バスの利用者数は順調に増加して推移しているが、一定期間後は減少傾向となることが予想される。	清須市地域公共交通網形成計画に掲げた利用促進策（利用者目線：「バス停の利用環境の向上」、「一日乗車券の導入」など）を実施し、更なるバスの利用者の増加を図る。 併せて、更なる利便性の向上に向けてルート・ダイヤの最適化を図る。
アンケート結果から、バスの存在はある程度認知されているが、バスのルート・ダイヤなどが十分に浸透しているとは言い難く、バスの利用につながっているとは言えない。	清須市地域公共交通網形成計画に掲げた利用促進策（非利用者目線：「利用促進イベント開催」、「コミュニティバス乗り方教室」など）を実施し、更なるバスの認知度向上及び利用者の増加を図る。
利用促進策などで向上した認知度を、バスの継続利用につなげるため、住民ニーズに対応したルート・ダイヤの最適化を図る必要がある。	毎年度アンケート調査を実施し、住民ニーズを把握するとともに、住民又は利用者の代表などで構成された地域公共交通会議において協議し、ルート・ダイヤ改正に地域の声を反映する。 なお、平成28年度には、本市の公共交通の充実度を、広く市民に評価していただく「公共交通に関する意識調査（仮称）」を実施予定であり、その結果を踏まえて、必要に応じて大規模な見直し、改善を検討する予定である。
バスを高齢者や主婦層などの日中の交通手段としてだけでなく、まちづくり、福祉、観光など、他の行政分野を展開する上で重要な基盤と捉える必要がある。	本市における地方創生を推進するための「清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成28年2月策定予定）」に、「公共交通の充実」及び「観光アクセスの充実」を位置付け、バスを中心とした「市内交通ネットワークの形成」や、「観光アクセスの充実」の一つの手段として、バスを積極的に活用する予定である。

#### ⑤アピールポイント(特に工夫した点)

- 本市の公共交通における現状及び課題を整理し、その課題を解決するために、清須市地域公共交通網形成計画（平成27年3月策定）を策定し、同計画に掲げた目標を達成するために利用促進策等の事業を着実に実施した。
- 利用促進イベントについて、PRブースの設置場所が人目に届きにくい場所であった清洲城信長まつりの反省を踏まえて、春日五条川さくらまつりでは、より多くの来訪者に対して周知を図るため、PRブースをまつり会場入口付近に設置しPR活動を実施した。6